

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成27年9月1日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) イオンリテール株式会社 代表取締役社長 岡崎 双一
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	イオン(株)、イオンリテール(株)、イオンスーパーセンター(株)、他7社	
導入年月日	2000年 6月28日	
認証番号	EC00J0033	
基本方針	豊かな暮らしと地球環境保全の両立に取り組みます。 ①低炭素社会の実現、温室効果ガスの排出削減。 ②生態系への影響と恩恵を把握し保全活動の推進。 ③持続可能な資源利用のために省資源、資源循環の取組み。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	1、省エネの推進。 2、食品廃棄物の削減。 3、資材使用量の削減。	
目標を達成するための取組の内容	①省エネの推進。電気使用量の削減。省エネ設備の導入。省エネチェックリストを利用した日々のエネルギー管理。 ②食品廃棄物の削減。販売計画に基づく発注精度の向上、見切り販売、試食による食品の売切り体制。 ③資材使用量の削減。買い物袋持参率の向上、資材の適正発注、コピー使用枚数の進捗管理。	
目標を達成するための取組の進捗状況	①省エネ「電気使用量」一昨年のLED導入で大きく成果を出した。今年度は、チェックリストの活用、省エネ機器の導入で改善できた。 ②食品廃棄物の削減率目標0.5%は、チャンスロス削減と利益確保の体制から廃棄率が上回った。 ③資材使用量の削減。買い物袋とOA用紙の削減で効果が上がる。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①省エネ項目の「電気使用量」＝目標の102.4% (未達) ②食品廃棄物の削減率目標0.5%のところ0.65% (未達) ③資材使用量の削減。目標の65% (達成)	
事業活動に係る法令の遵守の状況	各店で、年度初めに「法規制該当一覧表」を作成し遵守すべき内容を再確認し、年度終了後に1年間の遵守状況を評価しています。廃棄物関連では、処理場の定期視察、マニュアル交付状況確認実施。6年度内部監査において、京都市内5店舗の廃棄物削減に関する条例(特定食品関連事業者減量計画書・報告書)がされていない指摘があった。後日届出事実が確認され指摘は是正された。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年1回の「内部監査」及び認証機関であるJACOのサーベランスの結果に基づき評価、見直しを実施しています。26年度京都地区での見直し是正の指摘はなく、管理維持継続を進めています。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。